

風 緑

「お陰様」の一言につきる思い出

八日はお薬師様の御命日、父は無言の行、托鉢のキリリとした身支度をされて、雪・雨に關係なく毎月欠かさず早朝より東町西町登町へと、左手で押し右手で鈴を、ホーホーと息を限りに唱えつつ歩まれて行く。私は西町の曲がり角で乳母車を持って出向かえ荷受けをする。待ち受けて下さるお方、後方より、おっさん、おっさんと呼び掛け乍ら小走りに上納下さるお方、深々と頭を下げて立ち去り進まれる父、行者の姿に今にして思う時涙がしたたります。

当寺先代の子は七人兄弟でしたが、何故か此の世に縁薄く男二人は五才迄に、又長女は十二才で何れも他界。父はよくよく悔しかったのでしよう。私共に出来の悪い者はかり残って、と愚痴よくよく叱られました。稲枝小学校に二十年勤務された父でしたが、代用教員の空しさ故に恩給は皆無でとつても悔やまれ、せめて子供にだけは教育をと、四苦八苦の道程でした。皆様も既に御承知の通り、本尊佛は一六〇一年信阿弥・幸阿弥父子の夢枕に立たれた一僧のお告げによって出土された大佛様で「平和を愛し衆生の苦難を救い給う」事が本願です。故に父は行に徹し御佛に帰依されて、お伺い・祈祷等に、又布教師・温灸療法を以って病める方を癒す等、余念のない日々でした。更に屋敷畑、田圃に柿の木百五十本を植樹、収入の道をと昼夜を分かたず励んで下さいました。

とある冬の夜、お米の年貢代を投じて姉の大津家庭校への通学定期(二年分)を購入された矢先、その定期が紛失してしまったのです。再度購入の余裕等全くなく、思い余ってお薬師様にお伺いを、……結果「家の中の西北の隅の高い所を探せ」と、然し幾ら探しても思い当るふしもなく、もう退学しかないの

結論の矢先、部屋の隅の衣こうに掛けていた姉の半天の袂の底に(袖口の綻びより入ったものと思われる)お告げ通り出て来ました。

家族一同大喜び、お慈悲の深さに感じ入りました。言葉では語り尽くせぬ御苦勞の数々によつてお陰様で出来乍ら中等教育、更には専門校へ、不幸にして妹は小六で母に死別。中途半端で家の犠牲になつてくれたのです。病弱の妹をせめて語感乍ら癒したい。この気持ちで一杯です。昭和四十三年、男の子三人を残して亡くなられた田中家の後妻として苦勞を承知で子連れで嫁ぐ気持ちになりました。その親様への御恩返し、この一途の思いがあつての事でした。貧乏嬉しや何時までも、真心で以つて余生を悔いなく過ごさせて頂きたい。と念じています。

上岡部町在住 田中賀寿子

花のある美しいまちづくりに



ふるさと肥田を花一ぱいで包み、美しくやさしいまちづくりを推進しようとして、各戸にパンジーの苗と共に、培養土・フラワーポットを配布し、夫々の家庭のユ

ニークな花づくりとマッチして、今を盛りと見事な彩りを添えています。県道四つ角には、山岸氏提供の色とりどりのパンジー群が、道行く人々の目をなごませています。今後とも、みんなで季節の花を育て、美しい環境づくりにつとめましょう。



墓参道の整備工事成る



野良田町送水管工事に関連して、長年の懸案であった墓参道の整備工事も、本年四月肥田町自治会・郷づくり委員会

の度重なる折衝と、関係者並びに地権者のご協力によつて道のり約七十メートル、幅四メートルの工事も完了し、自動車による参詣ができるようになりました。

宇曾川クリーン活動実施

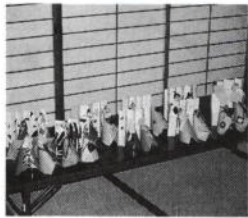
三月二十九日、自治会・郷づくり委員会合同による役員で、平成九年度最後の河川敷の清掃を行いました。



青空に鯉のぼり泳ぐ

さわやかな5月、今年も宇曾川堤に鯉のぼりの群が、5月の涼風を受けて、勢いよく泳いでいます。

肥田町の子どもみなさんも、元気一ぱいよい子になつてください。



三月、カンガルークラブお別れ会に、子どもたちはお母さんの指導で、かわいい「紙びな」を作りました。どれも見事な作品でした。

石碑の建立・移転

永祿三年(一五六〇)今から約四四〇年前、肥田・野良田の戦の水攻めで、堤が切れて大難をのがれた場所に、「水攻めの碑」が大村治兵衛氏によつて建立された。肥田に又一つ歴史を偲ぶ名所が増えました。



このたび、歩道の延長工事に伴い、「肥田城跡」(昭和五十七年、大村治兵衛氏・細居敏氏建立)の碑を肥田公民館前花壇に移設しました。

子ども会歓迎会を実施

三月二十九日、午前中はカンガルークラブのみんなと楽しいお話し会を過ごして、午後には子ども会の歓迎会を行いました。



平成九年退会する六名(鶴野聡明・清水義広・滝 伸哉・成宮剛史・山本恵み・元持亜紗子)平成十年度は三名(藤摩恭平・辻野多美子・中山鈴菜)を迎え、九名のみならず、それぞれ一言ずつあいさつをしてもらいました。退会のみならず、よき中学生としてがんばってください。新入のみならず、上級生の人たちと楽しい子ども会活動を行ってください。

会長 元持 清